

受付

7.12.19

議会事務局  
総務課

(様式2)

令和7年12月19日

京丹後市議会議長 様

会派名 翔和会  
代表者 多賀野 一彦

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和7年11月18日(火)
- 2 場所 衆議院第一議員会館 地下1階大会議室
- 3 目的  
山陰近畿自動車道の更なる道路整備を推進するため、「山陰近畿自動車道建設促進議員連盟」と3府県による「山陰近畿自動車道整備促進協議会」が合同で「山陰近畿自動車道整備推進発起大会」を開催し、地元議員として要望活動を行う。
- 4 該当する政務活動費の用途項目  
要請・陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額

【交通費】	65,291円
(内訳) 京都縦貫道往復(京丹後大宮IC～沓掛IC)	5,530円
使用車両ガソリン代	3,081円
京都駅～東京駅往復(2人)	56,680円
【宿泊費】	24,400円
(内訳) アパホテル六本木SIX 12,200円×2人 素泊まり	
- 6 参加議員名  
多賀野一彦、由利彰基

## 7 活動成果の概要、所見

決起大会は、道路整備の本質的意義を再認識し、その効果や優位性を地域がいかに活用するかを確認する重要な要望活動である。

現状として、高規格幹線道路に匹敵する重要な道路であるにもかかわらず、京都府の整備は他県に比べて遅れている。これは地域の発展や住民生活に大きな影響を及ぼす課題である。

自然災害の観点では、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道、山陰自動車道と連結することで防災ネットワークを構築でき、災害時の減災に大きく寄与する。地域医療の観点でも、本市や山陰海岸地域に存在する医療拠点を結ぶ道路網は不十分であり、緊急時の迅速な医療対応を可能にするためにも整備は不可欠である。これにより医療の質とアクセスが向上し、地域住民の安心・安全を確保できる。災害対策、医療体制、住民保護のいずれの視点からも、道路整備は喫緊の課題であり、速やかに取り組む必要がある。

全長 120 キロに及ぶ高規格道路整備は京都府が最も遅れている。従来型の予算編成では物価高騰の影響により実質的に予算が縮小しているのと同じであり、抜本的な予算編成が求められる。完成時期を明示し、期間内に事業を完了させることを第一優先事項として、関係機関が連携して取り組むべきである。

完成時期の明示は企業の計画的投資を促し、産業発展や地域経済の活性化につながる。こうした動きを通じてヒト・モノ・カネが循環し、地域の持続的成長が期待できる。そのためにも、地元企業・行政・市民が一丸となり、山陰近畿自動車道延伸の必要性を国政へ強く訴えていかなければならない。